

晴香園だより

題字 山本健治先生

第21号

発行

児童養護施設 晴香園
〒270-0011 千葉県松戸市根木内145
電話 047(345)2722
FAX 047(309)8807
E-mail: info@s-haruka.org



ちの手助けをした時に、そのことに気付いてほしいと思います。
また、これから生きていくなかで、予想もしなかったような困ったことがあるかもしれません。その時には誰かを頼れる人でいて欲しいと思います。今まで色々な人たちに助けられてきたあなたです。これから、K君には素晴らしい未来が待っています。今までより自由になることもたくさん増えるでしょう。ただし、自由とは、責任という言葉といつも近いものです。自分で選んだ自由には責任を持てるよう、選ぶ前にはよく考え、時には誰かに相談しながら決断して下さい。

K君がこの生活から離れるのは寂しくなりますが、K君の未来を考えると楽しくなります。園に来る時にはまたその素敵な笑顔を見たいですが、笑顔になれない時にこそ会いに来てほしいと思います。
最後に、K君と出会えてよかったです。ありがとうございます。
そして、卒園おめでとう。

在園生から贈る言葉
僕の思うK君の良い所は、人付き合いが上手で、相手が気分の悪くなる事を言わない優しい所です。今までも僕の相談のつてく

れたり、色々教えてくれましたね。その優しい所が僕は大好きです。そんなK君が卒園してしまうのはとてもさびしいです。今まで一緒にスポーツしたり、買い物に行ったり思い出がいっぱいです。K君は、料理も上手でケーキを作ったり、お肉を焼いたり、その料理はどれもおいしかったです。僕の誕生日にくれたストラップは、今でも大事な物です。
これから一人暮らしをして、仕事をしながら大変かもしれないけど頑張ってください。



全員集合! はい、ポーズ!!



旅立ちの会での一幕

平成26年3月9日、一名の児童が晴香園から旅立つ日を迎えました。今年度の旅立ちの会は新しい多目的ホールで行われ、理事、評議員、後援会役員の皆様に加え、これまで会場の都合で呼びできなかった高松の校長先生、担任の先生、中学校の校長先生にもご臨席いただくことができました。以前に担当し今は退職している職員や、晴香園に入所する前にお世話になった方にもお越しいただき、卒園児自身も自分の成長を感じると共に、多くの人々に祝っていただけの喜びを感じることができ

ホーム職員から贈る言葉

私がK君のことで特に覚えているのが、広島でのことです。原爆ドームに行った時、K君の表情が変わるのがわかりました。きっと命の大切さを学ぶことができたのだらうと思います。
アルバイトについては何度も面接に落ちながら、それでもあきらめずにまた面接を受けました。その結果、スパーマーケットの面接に受かり、そのアルバイトを長く続けました。初めての経験ということもあり、帰って来てから不満をもらすこともありましたが、それでもめげずに頑張ることがで

旅立ちを祝う

きました。アルバイトの時とは違い、就職活動では一回目の面接で内定をいただくことができたのは、きっとアルバイトの経験があったからこそだと思えます。
試験の時にはいつもひやひやして、本当に進学できるのか、本当に卒業できるのかいつも心配していましたが、無事に卒業することができました。やるべき時にはできる、というのがK君だと思います。ただし、色々な時に、色々な人の助けがあったことは忘れないで下さい。社会人になって他の人た

後援会長から
贈る言葉

K君、高校を卒業され、就職も決まり、そして晴香園も卒園して社会人として旅立たれることを心からお祝いいたします。本当におめでとうございます。

K君は立派な会社に就職されるのにいきなり、変な話しをして恐縮ですが、最近の新入社員は3割が入社3年までの間に辞めると言われています。私共の頃も3日、3ヶ月、3年、これが仕事が嫌になる時期と言われました。

と言う私は40年以上前ですが、入社4年過ぎて、最初の会社を辞めていますので、あまり、偉そうなことを言える立場にありません。

学生に「何の為に働くの?」と聞くと、お金の為という答えがよく出ます。

確かに食べていかなければなりませんから、食べる為にはお金が必要です。このような



K君へ花束贈呈

働きを下川浩二氏は「ライスワイク」と言っています。しかし、お金だけが働く目的としたら何かとでもさみしい気がします。

やはり、仕事はやり甲斐があることが、まず大切ではないかと思えます。そのやり甲斐を感じるには何よりも自分の仕事が好きになることだと思います。仕事が好きになるには自分のやっている仕事の意義、自分のしていることが誰にどのように役に立っているのかを認識することです。

どんな仕事でも10年から15年くらい一所懸命やれば、段々仕事に分かってきて好きになっていきま

す。仕事というものは素晴らしいもので、そこを通して様々な人との出会い、経験し、学ぶことで、視野が拡がり、自分を成長させてくれます。そしてその成長により周囲から評価され、それが更に、働き甲斐に通じ、結果給与も上がるようになります。

そして、その仕事を更に20年、30年と継続して精進していくと、自分の仕事でどれだけ社会に多くの人々に役に立っているかを実感できるようになります。そうすれば、やっている仕事も人間も本物になります。

最近の人の辞める理由を聞いてみますと、職場の人間関係が嫌だとかイメージしていた仕事と違うとか、仕事がついついとかが挙げられています。これは仕事の大きさからすると、大した理由ではありません。大切なことは、自分の仕事かどの様に社会に、人に役立っているかを認識することです。

最初は下積みで面白くないことがあっても仕事の面白味や意義がわかるには短期間では難しく、まずは10年は頑張ることが大切なのだと思ってください。

もう一つ、私は子どもの頃、大人達から「悪いことをしたらお天道様がみているからね」と言われました。お天道様というのは太陽のことですが、更にいえば神様で

す。

ですから

自分の良心

に恥じるこ

とのない、

やましさの

ない、自分

の欲だけを

考えない、

お天道様の

下を胸を張

って堂々と

歩ける人に

なりなさい、

という

ことです。

若い時は

欲もあり、

善悪を考え

ずに勢いで

やっつけてしま

うことも沢

山あります

が、大切な

ことは他人

にも堂々と

伝える隠し事のない、お天道様に

恥じない生き方をすることです。

K君が前向きに、意欲的に、堂々と

とした人生を歩んでくれることを

期待しています。本当におめでた

うございます。

後援会長 松井 秀文



後援会役員の皆様と記念撮影



冬の活動報告

ミニコスタ食事会

昨年12月17日、今年も後援会の方々に、デイズニーシーのホテル・ミラコスタでの食事会に招待していただきました。小学4年生以上のお兄さん・お姉さんが、いつもよりおめかしして参加しました。

一步ホテルに入ると、そこはもう別世界！デイズニーに彩られた華やかな会場で、美味しいごはんを食べながら、和やかな雰囲気であちこち談笑している様子が見えます。テーブルマナーもお話の受け答えも、さすが高学年です。ただし、テーブルマナーについては、周囲をチラチラ気にしながら食べている不慣れな子も若干いましたが、そこはご愛嬌。これを機



会にすっかり覚えておきました。

さて、食事がデザートにさしかると、ジャグリングのパフォーマンスが始まりました。ジャグラーの方の高度な技と、勝手に助手に指名されたHくん(小6)との丁々発矢のやりとりは会場は盛り上がりました。最後にHくんは、ジャグラーの方から、お礼にアメとハグを渡され、アメだけもらってハグは拒否しました。これにはみんな大笑いでした。



最後にデイズニーシーのクリスマスショーを窓からみんな鑑賞しました。ダイナミックで煌びやかな演出に子どもたちは大興奮！ミラコスタの中でもショーが見られる会場は2つだけとのこと。そんなところを毎年使わせていただいで、最高の贅沢ですね。みんなしばし日常を忘れて夢のような時間を過ごしました。

おなかいっぱい！ おもちつき

昨年末、晴香園の中庭にて、恒例のおもちつきが開かれました。

子どもたちはもう慣れたもので、職員が何も言わなくても、各自手伝いたい作業に散らばっていきます。かまどの火の番に積極的なのは男の子たち、充分もち米が蒸しあがったら、臼と杵でついていきます。力自慢の中高生から、やる気は人一倍！の幼稚園生まで、交代でたくさんのおもちを一生懸命つきました。ついたおちはすぐさま調理、きなこ・あんこ・ずんだ・納豆・のり、五種類のおもちが出来あがりました。配膳を手伝ってくれるのは女の子たちです。



それまで今か今かと待機していた「食べる専門」の子たちはやっと出番が来ました。それ！かかれ!! とばかりにたっぷりお皿に盛って口に頬張ります。

真冬の空の下、あったかい豚汁と一緒に食べるつきたてのおもち、これを食べると今年ももうすぐ終わりだな、なんて一年を振り返るきっかけの味です。

みんなたっぷり食べてお腹いっぱいになりました。あんまり食べ過ぎて「もう自分おちはいいや」って、あらら、これからお正月なのにどうするの…。



今年も例年通り、たくさんのおボランティアの方にお手伝いいただきました。みなさまありがとうございました。

雪かき大作戦！

二月は全国的に雪がたくさん降りました。晴香園にも子どもたちが今まで見たことないくらい的大量の雪が降り積もりました。幼稚園生の足が根元まですっぽりはまって動けなくなる位の厚さです。大人たちはげんなりしましたが、子どもたちは大興奮！早速雪合戦にかまくらと雪だるま作り、そり遊び、こっそりばかりに雪を満喫しました。

一通り満足すると、今度は大人たちが持つてる大きいシャベルが気になります。貸してと言ったら遊びに使う物じゃないよって断られました。じゃあ手伝ってあげよう！

というわけで、広い園内の雪かきはたくさんのお子どもたちが手伝ってくれたおかげで日が陰る前に終わらせることができました。頑張ってくれた子たち、どうもありがとうございます！



卒園卒業おめでとう

今年もこの季節がやってきました。今年の卒園・卒業生は、幼稚園一名、小学校四名、中学校一名、高校一名の計七名です。

嬉しかったこと、悲しかったこと、楽しかったこと、たくさんさんの思い出を胸に、新しいステージへ進みます。

写真は小学校卒業の四人です。卒業式は春一番の吹く暖かい日でした。

サッカーが得意なYくん、リフティングの最高記録は二八〇回です。学校ではサッカー部に入って練習に励んできました。なんと六年間欠席0で、皆勤賞をいただきました！



穏やかで優しいNちゃん、放課後毎日約束する友達がいました。手先が器用で家庭科の手芸作品は先生にとっても褒められました。将来の夢はケーキ屋さん。その器用な手で素敵なケーキをたくさん作ってね。

園ではのんびり屋のKくん、学校ではリーダータイプでした。クラス代表として色々な場面で活躍しました。中学では弓道部に入ります！

勉強家のHくん、六年生では得意な算数だけでなく、苦手な漢字もコツコツ努力を積み重ねました。陸上部にも入って文武両道に頑張った一年でした。

四人とも充実した小学校生活を送ることが出来ました。中学に上がっても持ち前の強みを生かして大きく成長してくれることでしょう。

卒業おめでとう。

卒業おめでとう。



切手回収のお礼と 再度のお知らせ

前号でお知らせした使用済み切手回収のお願いに、たくさんの方々からご協力いただきました。いただいた切手は子ども達が、少しずつ既定サイズに切っているところです。ある程度数が集まったら日本国際ボランティアセンターに寄付する予定です。その時は園便りでご報告したいと思います。ご協力いただきました方々、本当にありがとうございました。

そして、まだまだ切手は募集中です。子どもたちのボランティア活動にご協力ください！

回収ボランティアのために、使用済み切手を集めています。封筒についてままでかまいません。少数でもいいので園まで送り下さい。傷のついた切手(消印以外の汚れ・欠損があるもの、破れているもの、折り目のあるものは換金できませんのでご注意ください。)

宛先

〒270-0001

千葉県松戸市根木内145

児童養護施設晴香園 切手係

なお、誠に勝手ではございますが、着払いでの郵送はご遠慮ください。

編集後記

長い冬が終わり、ようやく暖かくなってきました。

ポカポカした日曜の午後、三輪車で遊んでいた4才のTくんとの会話。

T「あー、たあぼぼ！」
職「本当だ、たんぼぼだね。小さいね」

T「たん、ぼぼ。みーっけ！」
職「もう春だね」
T「はるー？」

職「あつたかくなるねってこと」
T「そうしたら、たんぼぼも背えがのびるんでしょう」

職「そうだね、Tくんも春だから大きくなるね」
T「？」

職「もうすぐ年中さんでしょう」
T「うひひ!! やった!!」

春です！ 子どもたちはまた一つ大きくなって、新しい世界に踏み出します。たんぼぼのようにグングン大きくなって、未来に繋がる種をたくさん作れますように！

広報担当 橋本・大塚・前田

新規会員ご入会 継続会員会費
納入ありがとうございます

新規会員ご入会及び継続会員
会費納入ありがとうございます。
お名前に誤字、脱字記載漏れがあ
りましたらお詫び申し上げます。
また、その旨のご連絡を頂きたく
お願い申し上げます。

(今号では、平成 25 年 12 月 1 日
から平成 26 年 3 月 31 日お申し
込みの方、ご入金の方を掲載させ
ていただきました。)

【新規会員】

- 藤川 藤穂
金子 弘子
宇高 和子

(敬称略・順不同)

【継続会員】

- 浅井 利明
松戸友の会
内村物産(株)
(株)エーエフシー
太田 和利
大野 稔
大町 勝
小山田 美和子
恩田 典子
川口 春枝
川口 良子
川崎 あけみ

(株)ファミリーライフ川辺

帰山 吉弘
佐久間 由泰

森 千賀子
(株)サンアロー

(株)四国放送サービス
宍戸 一陽

柴野 シマ
柴野 太郎

(株)北日本ライフサービス
竹縄 妙子

田村 茂
(株)丹治

徳田 房子
(株)長島産業

中原 雅子
中村 敬

中矢 邦生
(株)西村

(株)ヘルスファミリー
(株)アップ・シアアイ

淵本 康方
船橋 晴雄

墳崎 敏之
星野 敦子

(株)シヨセ
みどりのキャベツ(株)

(株)ミヤマ建設
(株)メイワ

望月 好道
森 勇樹

森 博志

守谷 朱美
山下 千代松

山中 瑞枝
(株)ユーライフ

湯本 壬喜枝
セブンイレブン船橋米ヶ崎店

(株)ライズ
室橋 博史

縫部 鐵次郎
野村 義

松江 雪江
竹中 加津枝

(株)エル
佐々木 瑞恵

(株)山野建設
小林 由美子

日本クリン(株)
松崎 一嘉

梅本 真行
藤田 亜子

森下 智恵子
井坂 富夫

(株)リカーマート朝日屋
池森 富美子

野田 恵子
山田 敦子

櫻井 慎一郎
小嶋 祐司

阿部 寛子
うらやす・はっぴーくらぶ

柿沼 範明
渡部 尚英・直美

山本 忠明
高木 公明

齋藤 祐子

中島 美江
大尾 敏博

猿渡 英明
吉田 晴美

金村 慶二
藤永 健二

(敬称略・順不同)

晴香まなび基金への寄付
ありがとうございます

本庄 亮一

浅井 利明
古舘 紀代子

柴田 和子
宇井 ひさ江

副島 隆信
橋本 信男

(敬称略・順不同)



ご協賛の企業

ありがとうございます

アングス食品
セカンドハーベスト
ルート産業(株)

パールショップともえ松戸店
P・CLUB
マルハン松飛台店

松戸遊技業防犯組合
中山 誠一

医療法人社団聖秀会
日本鏡餅組合

聖光ヶ丘病院
理事長 樋口 元剛

手塚 英樹
小倉 マリ子

得居 仁
カノンスポーツ

日本スポーツ用品協同組合
連合会 理事長 重森仁

ぬーばプロジェクト
(株)ゴールド

代表取締役 申澈権
山崎製パン 松戸工場

東 絵里奈
唐澤 朗子

日向 恵子
ヤマザキ製パン従業員組合

松戸支部
ベストビルサービス(株)

代表取締役 小野邦之
松井 秀文

ピーポケット
和田 純子
㈱日本総合開発
株式会社 創成社
塚田 尚寛

小倉 マリ子
株式会社 プレナス
「ほっと もっと」

久保 剛
牧野 英美子
手塚 英樹
株式会社 SAKULIFE
取締役 原田 大樹

毎日新聞東京社会事業団
ムーンバント株式会社
経営企画・リスク管理室 丹野

杉山 達雄
㈱クリアー
玉置 仁視
猿渡 英明
日本出版販売労働組合

中央執行委員長 土本 知英
千葉西総合病院
株式会社 E-VOL代表 川口

中村 康子
中央ロータリークラブ
(有)植木宝石 植木 真澄
虎屋産業㈱

佐々木
加賀谷 優子
カーブス松戸馬橋
TTEレレクトロニクスジャパ

ン㈱ 代表取締役 渡邊哲也
㈱共同通信イメージズ 管理
本部管理部 部長 福室敏之
カーブス南流山店

カーブス江戸川台店
小金原学童
渡邊 富美子
坂下 美知代
藪崎 幸子
児童かきかた研究会

松戸市民団体 矢内 泰次
宮越 憲司
加藤 崇
岩崎電気管理事務所
晴香と同じ名を持つ母

西山 順之
松戸市社会福祉協議会
㈱山野辺建設
山口 康勺

成田市社会福祉協議会
鎌ヶ谷市社会福祉協議会
流山市社会福祉協議会
社団法人 全日本不動産協会
千葉県本部

我孫子市社会福祉協議会
佐藤 剛
池森 富美子
松戸市社会福祉協議会

早川 雄一郎
ハッピーマザーグループ
NPO法人まつどゆいねっと
新井 裕之
柏市民児協 女性児童福祉部

香川
石井
北村
㈱丸昭建材
小宮山 幸子

野田 恵子
高木 公明

山口 文代
松戸地区更生保護女性会
匿名2名
(敬称略・順不同)

**ボランティアご協力
ありがとうございました**

○学習ボランティア

柴田 和子
田中 里奈
今野 汐里
高橋 千尋
湯本 佳子
矢野 靖子
小林 由美子
Noel Curry
吉田 珠穂
青柳 陽子
秋田 拓哉
木下 恵
猿渡 英明
堤 大介
山崎 絵里
石川 悠久
笠岡 美希
畑岡 進也
荒川 由里恵
後藤 奈々子
富永 俊一
井出 慶子

杉浦 かおり

○家事手伝いボランティア
渡邊 富美子

○スポーツボランティア
毎田 光輝
鈴木 遼亮

○図書室ボランティア
口地 美恵子
深山 喜子
谷 康夫

○ピアノボランティア
石井 美和

○散髪ボランティア
ハーフムーン

○誕生日ケーキプレゼント
オペラ座
(敬称略・順不同)

